

炎（特にスギ花粉症）では、他のアレルギー性疾患に比べ総 IgE が低い傾向があります（* 1）。

Q：特異的 IgE の抗体価合計に比べて、総 IgE の値が著しく高くなることはありますか？

A：ありえます。
一般的にアトピー性皮膚炎においては、アレルギー性鼻炎や気管支喘息よりも総 IgE が高く出る傾向があります。アトピー性皮膚炎では、陽性となるアレルゲンの数が少なくても、総 IgE が高値を示すことがあります（* 1）。

Q：症状がないのに特異的 IgE が陽性に出るのはなぜですか？また症状があるのに特異的 IgE が陰性になるのはなぜですか？

A：症状の発現には特異的 IgE の存在（感作）のほか、アレルゲンの曝露量、化学伝達物質の量、患者さんの状態（化学伝達物質の感受性亢進の有無）などの因子が関与します。これらの条件が揃った時に症状発現を起こすと考えられるため、特異的 IgE が陽性であっても症状が出ない場合があります。症状があるのに特異的 IgE が陰性になる原因としては例として以下が考えられます。

- ・特異的 IgE が関与していないアレルギーである（I 型以外のアレルギーである、もしくは免疫を介さずにアレルギー様症状を引き起こす仮性アレルゲンなどが原因）
- ・局所では特異的 IgE が存在し症状を起こす条件が揃っていても、血中の特異的 IgE 量が十分に上昇していない
- ・検査したアレルゲン以外が原因アレルゲンの場合
- ・当該症状に関与するアレルゲンコンポーネントが粗抗原の中の含有量が少ないため、IgE 量を十分に検出できていないなど

参考文献

* 1：奥平博一ほか、新しい特異 IgE 抗体検出法（CAP System）の評価とその有用性に関する研究、アレルギー40（5）544-554, 1991

2 感染症トピックス：腸炎ビブリオにご注意を！！

【腸炎ビブリオ感染症とは】

腸炎ビブリオは、5 類感染症定点把握疾患である感染性胃腸炎の起原菌の一つです。
腸炎ビブリオによる食中毒の原因食品はほとんどが魚介類です。8 月をピークとして、7～9 月に多発する細菌性食中毒の主要原因菌の一つです。
学名は *Vibrio parahaemolyticus* で、コレラ菌と同じビブリオ属菌です。
好塩性で、3%食塩水で最もよく発育します。逆に10℃以下では発育せず、熱にも弱く、煮沸すれば瞬時に死滅します。

【臨床症状】

潜伏期間は12時間前後で、主症状としては耐え難い腹痛があり、水様性や粘液性の下痢がみられます。下痢は日に数回から多い時間で十数回でしばしば発熱や嘔吐、吐き気がみられます。下痢などの主症状は一両日中に軽快し、回復します。

【対策】

魚介類は新鮮なものでも真水でよく洗い、短時間でも冷蔵庫に保管し増殖をおさえます。
60℃、10分間の加熱で死滅します。

細菌性食中毒の検査は便培養検査が適していますので、便培養容器での検体提出をお願いします。

3 学術研究発表

学術研究発表

2019年5月18・19日に山口県で行われました「第68回 日本医学

